



# Harmony

特集

## 慢性腎臓病(CKD)の進行をおさえ、 腎不全に対しては最善の透析を提供します

- 1 ● 慢性腎臓病(CKD)が進行しないようにサポートします
- 2 ● あらゆる病状に対応してテーラーメイドの透析治療を提供します



病院の理念 | 私たちは"真に病院らしい病院"を目指します

病院の基本方針

私たちは生命の尊厳と人権を尊重し、地域の皆様に信頼される病院であるよう努めます。  
私たちは皆様に質の高い医療を提供するために知識・技術の向上に努めます。  
私たちは感性をみがき、感謝の気持ちを大切に、皆様と感動を共有できるよう努めます。

# 慢性腎臓病 (CKD) が

## Feature

# 進行しないようにサポートします

### 慢性腎臓病(CKD)治療は腎不全への進行も視野に入れて行います

院長 真鍋 康二

慢性腎臓病 (Chronic Kidney Disease、CKD) とは、慢性に経過するすべての腎臓病をさします。患者さんは1,330万人 (20歳以上の成人の8人に1人) もおられると考えられ、新たな国民病ともいわれています。腎臓は体を正常な状態に保つ重要な役割を担っているため、慢性腎臓病 (CKD) によって腎臓の機能が低下し続けることで、さまざまな問題が発生します。ところが、CKDは初期には自覚症状がほとんどありません。それが怖いところで、患者を増加させている原因です。そして腎臓は一度ある状態まで悪くなってしまうと、**自然に治ることはありません**。放っておくと、どんどん進行して透析療法や腎臓移植を行わなければいけなくなる可能性があります。また、CKDは末期腎不全の予備軍であるのみならず、心筋梗塞や脳卒中などの心臓血管の病気についても重大な危険因子であることが判明しています。慢性腎臓病 (CKD) の多くは加齢による動脈硬化や高血圧、糖尿病などの生活習慣病と密接に関連しています。このため、第一に食事療法や運動療法を中心とした生活習慣の改善に取り組むことや、その上で降圧治療、糖尿病や脂質異常症を治療することにより、予後を改善することが期待されます。

当院では、**糖尿病専門医、腎臓病専門医、循環器専門医**がCKDの治療にかかり、さらに腎不全に進行しても、同じ医師が**透析専門医**として治療にかかわっています。今回は当院の慢性腎臓病 (CKD) 治療と透析治療について、多職種によるチーム医療での取り組みを中心に詳しく紹介します。

### ●沈黙の臓器 「腎臓」の役割について

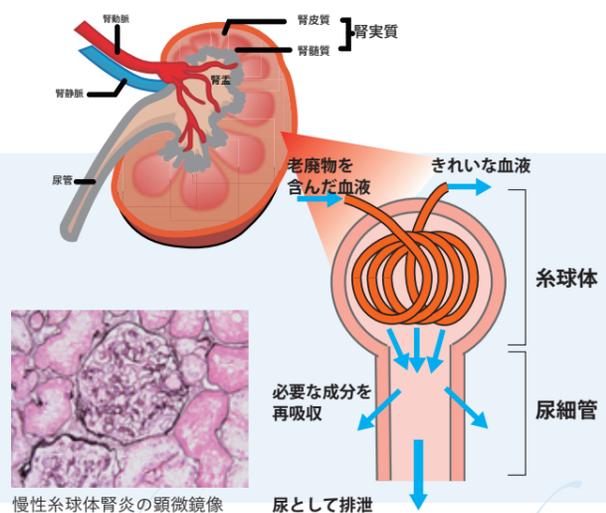
腎臓の役割といえばおしっこを作るということは皆さんご存じだとは思いますが、それ以外の役割をご存じでしょうか。水分の中には塩分やミネラル濃度などの成分も含まれているので、その水質を一定に保つように機能しているのも腎臓の役割です。

その他に腎臓は、骨髄の細胞に働きかけて赤血球の生産を促す造血ホルモンを作ったり、血圧を一定に保つ、カルシウム値を調整するなど様々な働きを持っています。

最近、この腎臓の機能が低下して透析を受けるようになる患者さんが増えています。腎臓は、沈黙の臓器と言われており、中々自覚症状が出ません。体がだるい、または息切れがするという状態で受診したときには、すでに腎臓の働きが低下して透析療法が必要になっている患者さんは少なくありません。

### 腎臓の主な働き

- 老廃物を体外に出す
- 体液の量や電解質バランスを調整する
- 血圧を調整する
- 造血ホルモンをつくる
- ビタミンDを活性化し骨を強くする



### ●CKD治療(透析予防)に対するチーム医療

1979年11月1日に腎臓病を専門とする病院として開院した当院は、開設時から末期腎不全の血液浄化療法に取り組んでおり、現在126台の血液透析患者監視装置で県内最多の約350名の患者さんの血液透析を行っています。開院当初に腎不全の原因の大半を占めていた慢性糸球体腎炎は、医学の進歩により治療可能な病気となり、透析に至る患者さんは激減しております。その一方で、糖尿病・動脈硬化といった生活習慣病による透析患者さんが増加し、透析導入年齢の高齢化が進んでいます。

「慢性腎臓病 (CKD)」は、年々増え続ける透析患者さんを減らし、また腎臓の病気が原因となって心臓病や脳卒中が発病するのを予防するために作られた病名であり、慢性腎炎など腎臓そのものの病気と生活習慣病が原因で慢性に経過する腎臓の病気を含んでいます。たんぱく尿が判った時点で腎臓専門医による正確な診断のもとに治療・管理が開始されなければ、気がつかないうちに進行してしまうことがあります。

当院では、医師、糖尿病療養指導士、腎臓病療養指導士を含めた看護師、薬剤師、管理栄養士によるチーム医療で慢性腎臓病の治療・管理に関わっています。腎臓病を悪化させないために、日々の生活習慣の改善、食事療法や薬物療法による血圧管理、貧血改善、脂質や糖の代謝管理、塩分摂取制限などを、それぞれの専門的立場で指導を行っています。腎臓の残った働きをなるべく保ちながら、透析導入までの期間を延長すること、また心臓血管系の病気の発病や腎不全にともなう低栄養を予防することを目標に治療・管理を行い、必要な場合は教育入院を勧めさせていただいております。

それでも残念ながら透析療法が必要となった場合は、患者さんを取り巻く社会あるいは家庭生活に配慮してできるだけ負担を少なく、円滑に透析生活に移行できるよう努めています。外来、血液浄化療法センター、病棟との連携を取り、患者さんが安心して、治療を受けることが出来るようにみんなで支援していきます。

### ●腎臓病療養指導士とは

日本腎臓学会では、日本腎不全看護学会、日本栄養士会、日本腎臓病薬物療法学会と共同で、標準的なCKDの保存療法を現場に浸透させることを目的に2018年腎臓病療養指導士制度を立ち上げました。「腎臓病療養指導士」は、職種横断的な、CKD療養指導に関する基本知識を有した者で、対象は看護師、管理栄養士、薬剤師の3分野の方々です。当院でも、看護師と薬剤師の3名が資格取得し、今後のCKD療養指導に寄与していきます。



松浦 美子 看護師



稲野 茂行 看護師



岡本 梓 薬剤師

# あらゆる病状に対応して テーラーメイドの透析治療を提供します

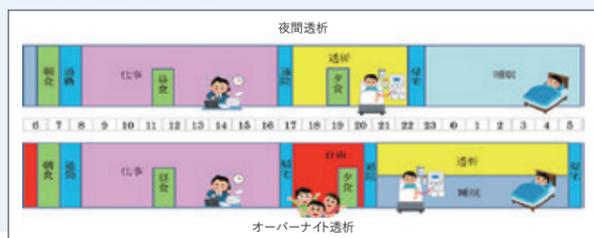
## ●長時間透析・オーバーナイト透析・在宅血液透析

当院では、さまざまな透析患者さんの変化に対応して、個々の患者さんに合った血液浄化療法を選択するよう心がけています。血液透析は、一般的には週3回、1回4～5時間行うのが標準的です。しかし、1日24時間働いている腎臓の機能により近づけるために、最近では週18時間以上の長時間透析を行うことで、透析合併症の改善や予後の改善が得られることが報告されています。当院でも通常の透析枠を利用して週3回6時間の長時間透析を行い、高リン血症、高血圧、腎性貧血が改善して、薬剤の減量ができた患者さんもおられます。ただ、働き盛りの患者さんでは時間的制約があり、実施可能な患者さんが限られること、飲み薬は減量できますが、週24時間以上の透析患者さんと比べると減量効果が劣る欠点も明らかになってきました。

そこで、当院では深夜の時間を利用した1回8時間（週24時間）のオーバーナイト透析を2015年3月より試験的に導入しました。従来の透析と比べ、高リン血症、高血圧、腎性貧血の改善が著しく、リン吸着薬、降圧剤、エリスロポエチン製剤が、1回6時間透析の患者さんと比べても大幅に減量できることが分かってきましたので、2017年4月に本格導入し、2018年現在、オーバーナイト透析を行っている患者さんは7名です。

一方で、長時間透析といえども、腎臓の機能としては健康人の10～20%程度しか代行できておらず、健康人とまったく同じ食生活ができるわけではありません。特に、塩分やリン（特に食品添加物などの無機リン）について

### ●透析日の生活パターン例



は注意が必要です。また、オーバーナイト透析は、夜間に透析を行うために、安全性を考慮して心臓や脳に異常のある方は対象から外しています。今後も、順次増床して働き盛りで透析不足の患者さんを第一の候補に就労支援となれるように努めていきます。

加えて、当院では、在宅血液透析も提供しています。在宅血液透析とは自宅に透析機械を設置し、患者さん自身で透析治療を行う方法です。在宅血液透析の利点は大きく2つあり、1つ目は自分の生活スタイルに合わせて治療を行えること、2つ目は十分な透析（生命予後が良いとされる頻回または長時間透析）を行えるため、飲水・食事制限がほぼなく、透析患者さんに多く見られる合併症のリスクが減るということです。対象となる患者さんは自己管理・自己決定・自己責任を十分ご理解いただいた方で、自己穿刺などのトレーニングを受けることができ、必要な知識と技術を習得できる方となります。当院では、2010年から始めた在宅血液透析は、現在4名の方が行っています。



オーバーナイト専用室



就寝中は、適度に部屋の照明を落とします

## ●オンラインHDF（HDF：血液透析濾過）

近年では透析膜の進歩によって血液透析（HD）とHDFの治療効果の差は少なくなってきているため、さらに分子量が大きい毒素まで取り除くようなオンラインHDFという治療法があります。血液透析と比べて濾過する毒素の量が多くなる為、透析アミロイドーシスや骨関節痛、皮膚掻痒症などの各種合併症に有効であると報告されています。また、透析治療中の血圧変動が少なく、透析困難症にも効果が得られます。治療中の循環動態の安定は長期的な心・血管系の合併症予防につながると考えられています。

オンラインHDF対応装置は現在46台あり、新たな治療法である間歇補液型HDF（I-HDF）にも対応しています。I-HDFは透析中に一定間隔で補液と濾過を繰り返す方法で末梢循環の改善、透析中の血圧の安定、物質除去効率の向上が期待されています。

### オンラインHDFに期待される効果

#### 1. 短期的臨床効果

骨・関節痛の改善

皮膚掻痒感、イライラ感、不眠などの不定愁訴の改善

透析困難症（透析低血圧）の改善

貧血の改善

食欲不振の改善

#### 2. 長期的臨床効果

透析アミロイドーシスの進行・発症の抑制

栄養状態の改善

動脈硬化進行の抑制

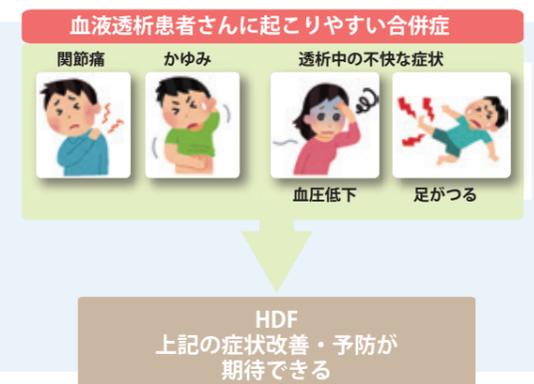
## ●患者さんの生活スタイルに合わせた時間調整

当院では、月・水・金は午前透析・夜間透析の2クール、火・木・土は午前透析の1クールを標準としています。午前透析は、朝9：00からの入室・治療となります。夜間透析は、16：00から入室・治療です。夜間透析に関しては、病状が安定していることが必須となりますが、最終22：50まで治療が可能ですので、就労している患者さんにも仕事帰りに透析を受けられることから大変喜ばれています。また、少人数ではありますが、早朝透析（7：00～）や午後透析（13：00～）も行っています。

## ●残腎機能を生かした週1～2回の血液透析あるいは腹膜透析

最近増加している生活習慣病、高齢者の腎不全患者さんの中には、腎機能の悪化する速度が緩慢な方がいます。高齢者では身体の代謝が落ちて老廃物の産生量が少なくなり、若い人ほど血液浄化を行わなくても身体のバランスを取ることができる特徴があります。このような患者さんは、初めから週3回の透析を導入するのではなく、週1～2回の透析あるいは腹膜透析で腎不全状態を改善させることが可能になっています。

当院は、患者さんの病状・生活環境に応じたテーラーメイドの透析医療を提供するよう心がけています。そして、これらの医療を通じて患者さんが質の高い人生を送れるよう一層支援して参ります。



# 今年度の公開講座が始まりました!

今年度も公開講座の日程が決まり、第1回目の講演が6/23に開催されました。今年度は都窪医師会会長で医療法人 木村医院 院長 木村 丹先生による講演からスタートし、地域住民の皆さまなど多数の参加をいただきました。今年度も、楽しく学べる企画を多数ご用意いたしておりますので、ぜひご来場ください。

入場無料／申込不要／無料駐車場有 時間 14:00-15:00



2018

7/28 土

Lecture 2

栄養展示会併設

「幸せに長生きできる生活習慣とは  
～アンチエイジングの知識と実践～」

講師 | 重井医学研究所附属病院 院長 真鍋康二  
講座終了後イベント: ミニ健康診断

9/22 土

Lecture 3

「知って得するお薬の話  
～薬と賢く付き合うヒント～」

講師 | 重井医学研究所附属病院 薬剤部  
講座終了後イベント: 運動・体操

10/20 土

Lecture 4

「認知症について聞いてみませんか?  
～認知症の早期発見・早期予防で  
自分らしく過ごすために～」

講師 | 重井医学研究所附属病院 看護部長 川口法子  
終了後イベント: 運動・体操

11/17 土

Lecture 5

栄養展示会併設

「正しく学ぼう糖尿病  
～歳を取っても上手に付き合うには～」

講師 | 重井医学研究所附属病院 内科部長 荒木俊江  
講座終了後イベント: ミニ健康診断

Information  
会場&お問合せ

重井医学研究所附属病院 外来棟 2F 多目的ルーム  
〒701-0202 岡山市南区山田2117 / TEL 086-282-5311 / FAX 086-282-5345

NEWS

1

6/1に売店(生活彩家)オープン

大手コンビニエンスストアのポプラグループが運営する「生活彩家 重井附属病院店」が、院内にオープンしました。シックで明るい店内は、清潔感と高級感を漂わせています。店内に置かれている商品は、定番の飲食物に加え、おしめや病院内用のシューズなど介護用品や衛生材料も充実しています。また、公共料金や通販などの支払いの手続きにも応じてくれるそうです。クレジットカードでの支払いにも対応しています。通常の営業時間は8時から18時までですが、当院の休診日には9時から16時までと少し短くなりますのでご注意ください。店舗は病院内にありますが、地域の方もお気軽にご利用ください。



NEWS

2

看護師を夢見る学生さんが看護体験!

5月12日「看護の日・看護週間」にちなみ、当院では「ふれあい看護体験2018」を開催しました。今回の看護体験には、9名の看護学生の方が参加されました。参加者の皆さんには、真鍋院長から一日看護師の辞令を手渡された後、病院施設の見学、AEDの使い方や採血・注射の実習、そしてグループリハビリへの参加など多くのことを体験していただきました。たった一日ではありましたが、学校では得られない経験をすることができたのではないのでしょうか。私たちは、参加者皆さんのこれからの活躍を期待しています。



# 予 定 表 外 来 診 察

Outpatient care schedule

**受付時間** 8:30~12:00 (再診の方は、再来受付機にて午前8時より受け付けています)  
13:30~17:00

**休診日** 木曜・日曜・祝日  
(急病の場合は、あらかじめ電話で対応可能かどうかのお問い合わせをお願いいたします)

		月	火	水	木	金	土	
内科	午前	糖尿病・肝臓 (生活習慣病)	真鍋 康二 (総・肝・糖)	大森 一慶 (総・糖・腎)	荒木 俊江 (総・糖)	休 診	真鍋 康二 (総・肝・糖)	真鍋 康二 (総・肝・糖)
			大森 一慶 (総・糖)		池田 弘 (肝)		十川 圭司 (総・糖)	荒木 俊江 (総・糖)
	腎臓	福島 正樹 (腎)(紹介・初診のみ)	—	福島 正樹 (腎)	福島 正樹 (腎)		福島 正樹 (腎)	
	消化器	藤本さおり (総・消)	西山 仁樹 (消)	山本 直樹 (総・消)	岡 優子 (総・消)		岡 優子 (総・消)	岡 優子 (総・消)
藤本さおり (総・消)			藤本/山本 (総・消)					
★総:総合内科 腎:腎臓 肝:肝臓 糖:糖尿病 消:消化器 ★健診は、西山仁樹(月・火・水・金・土)が担当しています								
午後	一般外来	交代医師	交代医師	交代医師	休 診	交代医師	交代医師	
	専門外来 (予約)	(肝臓・ 生活習慣病) 池田 弘	(糖尿病) 真鍋 康二 荒木 俊江	—		—	—	
名誉院長外来	午前	—	腎臓・内科一般 瀧 正史	—	休 診	—	—	
小児科	午前	瀧 正史	虫明 亨祐	虫明 亨祐	休 診	虫明 亨祐	瀧 正史	
		虫明 亨祐	今村 昌司	今村 昌司		今村 昌司	虫明 亨祐	
午後	交代診療 予防接種	交代診療 予防接種	交代診療 予防接種	交代診療 予防接種		交代診療 予防接種		
小児療育	午前 完全予約制	今村 昌司	川田 珠理	川田 珠理		今村 昌司	今村 昌司	
	午後 完全予約制	今村/河野	川田 珠理	川田/赤池	今村/川田	今村 昌司		
★小児療育は初診の方は完全予約制(火曜・水曜午前中)です。予め電話での予約をお願いします。 他の曜日に来院されてもお帰りいただく場合がございます。ご了承下さいますようお願いいたします。								
外科	午前	櫻間 教文	平松 聡	平松 聡	休 診	平松 聡	平松 聡	
ダイアライ シスアクセス 専門外来	午前	櫻間 教文	櫻間 教文	櫻間 教文		櫻間 教文	櫻間 教文	
★ダイアライシスアクセス専門外来は、完全予約制です。予め電話での予約をお願いします。 ★時間外でも可能な限り対応いたします。電話でお問い合わせ下さい。								
泌尿器科 (予約)	午後	—	—	—	休 診	岡山大学	—	
皮膚科	午後	—	太田 知子	太田 知子	休 診	—	—	
眼 科	午後	第4月曜日 岡山大学	—	—	休 診	—	—	

## Information



### 重井医学研究所附属病院

〒701-0202 岡山市南区山田2117  
TEL 086-282-5311 / FAX 086-282-5345  
<http://www.shigei.or.jp/smrh/>

関連施設  
 しげい病院  
 重井医学研究所附属病院  
 重井医学研究所  
 岡山しげい訪問看護ステーション  
 岡山しげい居宅介護支援事業所  
 倉敷しげい訪問看護ステーション  
 倉敷しげい居宅介護支援事業所  
 倉敷しげい訪問看護ステーション  
 倉敷しげい居宅介護支援事業所  
 倉敷しげい植物園  
 倉敷昆虫館  
 健康増進施設 はあもにい倉敷

